

平成 20 年度・第 2 回班長会議議事録

社) 岐阜県臨床検査技師会

日時 平成 20 年 12 月 22 日 (月) 18:30~20:30

場所 岐阜市藪田南 3-5-10 技師会事務所

出席者 永井・近藤・兼子・川島・鈴木・浅野・渡邊・佐藤(弦)・古田・福井・横山
11 名

委任状 なし

1. 副会長・部長挨拶。
2. 第 58 回日本医学検査学会の一般演題延期と第 48 回中部医学検査学会開催日変更について報告。
3. 理事数変更・役員改選・役員任期の変更を報告し研究班長の任期について再度審議したが、前回の班長会議案(現在の役員は平成 19 年 7 月から平成 21 年 6 月の 24 ヶ月までとし、次回研究班長の任期を平成 21 年 7 月から平成 24 年 3 月の 33 ヶ月・以後は 2 年交代)とすることで再確認した。
4. 平成 21 年度の研修会について審議し、春季拡大研修会は血液・輸血研究班の研修会が担当。秋季拡大研修会は生理研究班 2 部門が担当することを決定した。平成 21 年度、中部地区研究班研修会(岐阜地区担当)は該当研究班がないことを確認した。
5. 中部地区研究班研修会(岐阜地区担当)の最終報告を輸血研究班・微生物研究班より、参加人数・会計報告を行った。
6. 前回理事会にて 1 年間の研究会予定を早めに決定して総会議案書に載せてほしいと再度依頼があり、各研究班長に平成 21 年 1 月 20 日までに報告するよう依頼した。
7. 医学検査の投稿論文で各都道府県技師会推薦論文として、岐阜市民病院中央検査部三輪 納子技師の「全自動尿中有形成分分析装置 UF-1000i の基礎的検討～留意すべき症例を中心に～」したことを再確認し、来年度も第 47 回中部医学検査より各都道府県技師会推薦論文が必要なので今から準備・報告出来るよう依頼した。
8. 平成 20 年度 第 3 回理事会報告をした。
9. 岐臨技の学術誌は一般・微生物の 2 演題投稿があり。平成 21 年 1 月末までに論文報告出来るよう依頼。広報部からの投稿原稿と 2 演題をあわせて、岐臨技の学術誌として作成する予定。
10. 細胞診研究班長の福井加代子技師(中濃厚生病院)が勤務先の都合により途中交代となることが判明、後任の研究班長を後日報告することで班長会議として承認した。

署名人 _____ 印

_____ 印

_____ 印